

主な記事

- ゴミ問題 2
- 美山窯元祭り 6
- まちの話題 8
- 市民の広場 18

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

じぶんと

HIOKI JOURNAL DEC.2005



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)
 総人口 53,372人(28)
 男 24,932人(19)
 女 28,440人(9)
 世帯数 22,236 (20)
 12月1日現在()は前月比
 市の面積 253.02km²

鹿児島市の谷山まで車で十分という吹上地域の東部、鹿児島市境に位置する上与倉自治会。県道谷山伊作線の上り坂(通称伊作峠)に向かって右側を中心に広がる山あいの里に七十一世帯、百五十一人が暮らします。
 高齢化率は三八%を超える集落ですが、地域に広がる棚田での農業を生かした「バスツアー」の取り組みが、地域に活力を与えています。



会長
黒葛 秋男さん

わが地域

上与倉自治会(吹上地域)

棚田を生かした都市との交流

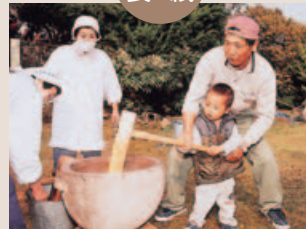


▲バスツアー参加者と一緒に

【国】土の保全を目的に、国土の約七割を占める平野の周辺部から山間部の傾斜地が多い地域の農業を支援しようと、国が導入した「中山間地域直接支払制度」。平成十二年から始まったこの制度を利用して、棚田の多い農業を守り続けていこうと、集落の農家がまとまりました。

ち十戸当たり一万円をそれぞれの農家が農地の維持管理のために受け、残りを農道や水路管理などの共同の取り組みに回しています。
 【共】同の取り組みの一つとして平成十五年からは、鹿児島市を中心とする都市部の人に田植えと稲刈りを体験してもらうバスツアーが始まりました。ツアーには集落内の休耕田約十四戸を利用。田植えや稲刈りといった農作業と一緒に汗を流し、昼食は地元食材や棚田米を使った田舎料理でもてなし、交流を深めます。稲刈りではきねで餅をつき、あんこ餅にして食べます。ツアーには「グリーンツーリズム」などの人気もあり、毎回、親子連れなど三十人前後が参加。リピーターも少なくありません。
 「参加者が農作業を楽しむ姿を目にするとうれしくなります。棚田の風景を気に入ってもらい、料理

今月の紙



晩秋の里
 東市来の高山ふるさと秋祭りでのもちつき
 かずらを使った工芸やマストリ大会など子どもたちの歓声が響きました。(11/27)
 詳しくは次号でお知らせします。



▲昼食は地元料理でもてなす

【ツ】アをきっかけに、棚田に代わられる農業をみんなで見守っていかねければと、さらに機運が高まり、地域づくりにも新たなまとまりと活気が生まれてきました。公民館に展示されたツアーの記録写真が住民の励みにもなっています。参加者を通して、上与倉の「棚田米」が都市部の消費者に伝わり、販路の拡大にもつながりつつあるこの取り組み。できるかぎり継続させたいと思っています。

編集たいむ

めつたにみなくなったTVの連続ドラマですが、時間があればTVの前に座っている番組があります。「1リットルの涙」▼突然襲った難病で、障害を背負いながら生きていく女性の姿と周囲の人たちのかかわりを描いた実話に基づくもの。主人公の生きることにまつとうしようとする姿に感動しながらも周囲の反応にはいろいろと考えさせられます▼障害のある人に対する接し方はとても難しいものがあります。親切心からとつた行動が相手の心を傷つけることもあるかもしれません。大切なのは差別や偏見の感情を持つことなく相手の立場になって考えること▼スパーの車いすマークのスペースに健常者が駐車している光景をよく見ます。買物をあきらめたり遠い場所から懸命に入口に向かっている人がいるかもしれません▼いま障害のない人も病いやけがでいつ障害が生じるとも限りません。その時あなたを理解してくれるのはだれ? 今月三日から障害者週間でした。障害のある人や障害のことを理解しようとする人によって等しく快適な社会が実現します。

7 平成17年12月号

発行/日置市役所
 総務企画部企画課
 〒899 2592
 日置市伊集院町第一丁目100番地
 TEL 099(273)2111
 FAX 099(273)3063
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

ゴミ問題がなくなる日 七百ポツの自己責任

大量生産に大量消費。生活の便利さ、生活スタイルの変化とともに増え続けてきたゴミの問題が、全国各地で深刻になって久しい。大量に排出されるゴミを処理する施設の不足、ゴミ処理費用の増大、不法投棄による環境破壊など、ゴミをめぐる問題はまだまだ後を

絶たない。ゴミの排出を抑制し、資源を再利用する「循環型社会」の形成を目指し、リサイクル法なども制定され、各地で取り組まれているが、果たして問題解決になりうるのか。日置市のゴミ問題の現状と課題を追ってみました。



▲ 廃プラスチックの中の異物を手選別していきます

クリーンリサイクルセンター 旧六町の施設を市単独で管理運営

日置市となった旧四町はこれまで、旧松元町・旧郡山町とともに日置地区塵芥処理組合を構成し、ゴミの処理については共通理解のもと、分別の仕方、収集・運搬方法など、ほぼ同じように取り組んできました。そういう点では、廃棄物処理業務は、合併に伴う調整も少なくスムーズに新市に移行できました。

日置地区塵芥処理組合は平成十一年に総合的な一般廃棄物処理施設「クリーンリサイクルセンター」を建設。資源循環型社会の構築をめざし、リサイクルに主眼を置いた、不燃系ゴミのリサイクル施設、可燃ゴミの焼却施設、焼却した灰を溶融し安定化する溶融施設、リサイクル不可能な残さ物などを最終的に埋め立てる処分場などが整備されています。

クリーンリサイクルセンター建設後、組合を構成する六町の分担金などで管理運営されてきた施設は、松元町と郡山町が鹿児島市との合併により離脱し、現在は日置市単独で運営されています。

環境に配慮した高度な処理能力を持つ、先進的な施設を整備するために多額の資金をかけて整備された施設を単独で管理運営していくためには、これまで以上にゴミ処理にかかる経費を抑えていくこ

減らないゴミ 進まない資源化分別

平成十六年度の日置市（旧四町）全体のゴミの排出量は年間約一万三千九百二十四ト。五年前と比較すると人口は微減しているにもかかわらず、約三千八十四ト（二八％）増えています。平成十二年以降、国は「循環型



▲ クリーンリサイクルセンターの焼却施設

とが必要となってきました。そのためにはゴミの減量、徹底した分別といった皆さんの協力が欠かせないことはいまでもありません。

社会形成推進基本法」を制定し、廃棄物の発生抑制（リデュース）、使用済み製品などの再利用（リユース）、最終的なリサイクルに、以前にも増して強く取り組んできていますが、それほど効果が上がっていないのでしょうか。

平成十六年度の日置市民一人当たり、一日約七百ポツというゴミの排出量。これは十七年度に入っても減少する傾向にはありません。そして、十六年度と十五年度を比較した場合、旧四町すべてにおい

て排出される資源ゴミの割合が減少しています。このことから判断すると、現状では日置市内のゴミの減量化、資源化ともに進んでいないという状況になります。

ゴミ処理経費の削減が急務

クリーンリサイクルセンターを取材してみました。

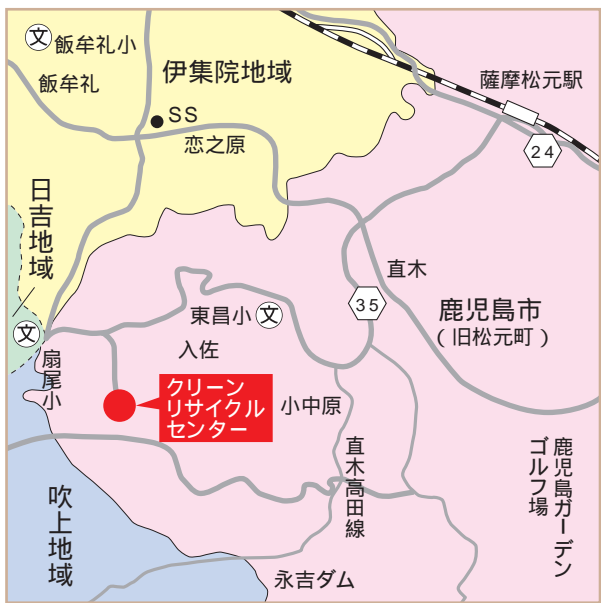
ゴミ処理に関する全経費から市民一人当たりのゴミ処理経費を算出すると、平成十七年度の見込みで約一万八千円の経費がかかることになりました。ゴミを処理するための直接的な経費では、一トン当たり約一万四千四百円になります。燃料費の高騰などを考えれば、この経費を削減していくためにはゴミを減量していくしかありません。徹底した分別も欠かせません。資源ゴミとして分けられるモノも、まだ燃えるゴミの中に入ってしまう状況があります。また燃えるゴミの中に、約五％の鉄類も混入されています。これは焼却施設を傷める原因にもなり、修理代など余計な経費が発生することにもつながります。

来年の四月からは資源ゴミの分別をさらに徹底するために、市全域で「コンテナ方式による収集」が始まります。これは従来の収集方法からすると、市民には負担になるかもしれません。しかし、ゴミは出す人の責任という認識を持って、市民一人ひとりが自分の出すゴミに最後まで責任を持って取り組んでほしいと思っています。ゴミ問題のない日置市をつくっていきましょう。

コンテナ収集は平成十五年度から旧伊集院町で取り組まれていました。市全域での実施は来年四月からで、現在は東市来・日吉・吹上の各地域のモデル地域で取り組みが始まっています。コンテナ収集については次号以降で広報します。

クリーン・リサイクルセンター

鹿児島市入佐町2319 TEL.099 292 5855



▲ 空缶の選別作業



▲ PET ボトルは洗ってキャップをははず

ゴミをゼロにすることは困難でも
ゴミ問題をなくすることは
市民一人ひとりの認識と行動で可能

クリーンリサイクルセンターからのお知らせです
勘違いしないで！所在地は鹿児島市でも日置市の施設
住所は鹿児島市入佐町二二一九と旧松元町地域にあります。日置市の施設です。電話番号は099（292）5855

ゴミを搬入できる日と時間を間違わないように
搬入できる日は、祝日を除く月曜日から金曜日までと、毎月第一・第三の日曜日です。搬入できる時間は、午前八時半から正午までと、午後一時から午後四時となっています。（年末年始を除く）

受け入れられないゴミに注意してください
ピアノや農機具、自動車部品、建築廃材といったものやガスボンベや消火器などの危険物など施設で受け入れられないものがあります。特に「家電リサイクル法」等によりエアコン、テレビ（ブラウン管式）、冷蔵庫、洗濯機、パソコン、冷凍庫も当施設では処理できません。
持ち帰りという事例も少なくありません。よく分からない場合は事前にお問い合わせください。



クリーンリサイクルセンター
加治木憲一さん

祝 受賞

優秀技能者

日置市には優れた職人技、技術を持ち、産業の振興や社会に貢献している優秀な技能者がたくさんいます。十一月十二日にあった県職業能力開発促進大会において、次の三人が優秀技能者県知事表彰を受けました。

技の美を常に追求し伝統を継承

陶工 荒木幹二郎さん(76歳 東市来町美山)



串木野の島平に上陸した渡来陶工、朴家第十四代で、昭和二十一年に荒木陶芸を創業。以来、薩摩焼制作において幾多の考案、研究工夫を重ねながら、技能向上に寄与してきた。薩摩焼の知識、技能に卓越し、若手後継者の技術指導、育成にも貢献している。文化財保

護法の趣旨にそって、日本の伝統に基づく工芸品から特に芸術的価値の高い作品が厳選される歴史ある「日本伝統工芸展」にこれまで十五回入選、日本を代表する作家でもある。薩摩焼の三大流派のひとつ苗代川焼伝統保存会会長も務め、息子の秀樹さんとともに伝統を伝え続ける。日本工芸会正会員。「焼き物に従事して六十年。四百年来の歴史を持つ窯ですが、単に従来の技法を守っていくだけではいけません。伝統的な技術を大事にしつかりと継承しながらも、さらに技を磨き、現代に即した感性と技で新たなかたちをつくりあげていってこそ伝統工芸としての薩摩焼の伝統を守っていくことになる」と確信しています。薩摩焼を愛し、誇りを持ちながら、伝統と心を伝えていきたいと思っています」

いい環境で技術もさらにアップ

自動車板金工

有村 則男さん(55歳 吹上町今田)



十六年間、鹿児島市の建具店に勤めながら技能を習得。昭和五十四年に独立し、現在「吹上工房」を経営。建具の伝統的技術、書院障子や雪見障子に卓越し、独自の工法を研究しながら、高級家具からインテリアとしての小型建具までその作風、技術は評価が高い。また、後継者育成にも尽力し、鹿児島高等技術専門校の指導者も務める。平成十一年から県木工技能士会会長。

「車業界が伸びていく中で、一日と性能やスタイル、素材も変化。新しい形を求めて、今日学んだものを次のものに生かしていくために、情報をいち早く取り入れ技術習得に努めてきました。環境を守っていくために、作業場をきれいに保つのもわれわれ技術者の社会的責任。きれいな工場づくりにも社員一丸となって取り組んできました。そんな環境の中でこそ技術も高めていけるものと信じています」クリーンな環境づくりが認められ三年連続で鹿児島運輸支局長表彰、今年度は九州運輸局長表彰も受けました。

どんな難しいものでも研究すれば不可能はありません。平成九年から県の技能体験教室「ジュニアマイスター教室」にも参加。これからも多くの子どもたちに木工を経験させ、楽しさを伝えていきたい。興味を持った子どもたちの中から一人でも多くの若者が技術を継承し、木工業界の発展につながればと願っています」

木工の楽しさを子どもたちに

木製建具製造工

窪園 和秋さん(58歳 吹上町和田)



伝統産業振興

伝統工芸品産業の振興および普及に尽力し、その功績が特に優れていたとして西郷さんが九州経済産業局長表彰を受けました。

窯元の得意分野ごとに薩摩焼をPR

陶工 西郷 隆文さん(58歳 日吉町日置)

昭和四十八年、黒薩摩の名家「長太郎焼本窯」の有山長佑氏に師事、昭和五十三年に日吉町に日置南洲窯を開く。伝統的な黒薩摩に加え、時代に即応した芸術的な作品は評価が高く、これまで日展の十三回入選をはじめ数々の芸術展に入賞。現在、芸術展への作陶はしばらく休み、県陶業協同組合の初代理事長としても多忙な日々を送る。日置野を最大限に生かせるような普及活動に取り組みたいと思っています。「平成九年に設立した組合は現



市内各地に窯元は多い。窯元が連携して「薩摩焼は日置」とアピールできるような取り組みも手がけていきたいですね」

使う楽しみが広がる作品を

陶工 吉永 誠悟さん(49歳 東市来町美山)



▲受賞した焼酎サーバーが並び

元来、川辺焼の原型となったといわれる熊本県の高田焼の陶工だった父、善衛さんが美山に移住して薩洲善衛陶舎を開く。生活の中で使ってもらおう陶器をと、ギャラリーには焼酎サーバーのほか急須や茶碗といった日用品が中心に並び、黒薩摩の粘土と白薩摩の粘土が織りなす独特な趣が目を引き、特に木の葉を薬品処理し乾燥させ、透き通るような葉の模様を生かした作品は他にはない。東市来のこけけ王国発足当初から町おこしグルー

プの一員として活躍し、地域の信望も厚い。「鹿児島の特産品である焼酎とお茶を楽しむための器にこだわっています。今回受賞した焼酎サーバーは、焼酎の代表的な器・黒ちよかに代わるモノとして今年の初めから制作を開始。飲み仲間の意見や技術者としてのこだわりで、美しさと利便性を追求し試作を重ねて完成しました。本体と台座を一体化し、最後の一滴まで飲めるように工夫した独特な形だけに手間もかかります」

地場産業の振興を図るために開催されたコンクールで薩州善衛陶舎・吉永さんの焼酎サーバーが県特産品協会理事長を受けました。

かごしまの新特産品

税を考える週間

「税」に関する作品展を開催

国税庁では十一月十一日から十七日まで税を考える週間と定めています。社会を支える基盤である税が果たす役割など、税をわたしたち一人ひとりの問題として考えようと、各地で広報・公聴活動が行われました。

日置市内でも小中高生を対象に、税に関する作文や標語などの募集があり、市役所ロビーや公民館などで入賞作品展を開催しました。入賞者は次のとおりです。(敬称略)

日置地区租税教育推進協議会表彰

作文の部

最優秀賞 野村 渚(日吉中3年)

優秀賞 大塚万帆(東市来中2年)

習字の部

最優秀賞 前平夏美(伊集院北小5年)

優秀賞 今吉真紀(妙円寺小6年) 溜池美咲(伊集院小5年) 馬場園紀生(土橋小4年) 松物千夏(伊作田小5年) 比良

竜太(湯田小5年) 下園理恵(伊作小3年) 横山希実(永吉小1年) 田口友美(和田小5年)

標語の部

最優秀賞 鈴之原北斗(鶴丸小5年)

優秀賞 東亜弥(伊集院小6年) 馬場添龍聖(伊集院小5年) 高橋梨花子(鶴丸小3年) 福田朱夏(上市来小6年) 有村

さおり(伊集院中3年) 河野隆太郎(日吉中2年) 下野桃子(日吉中2年)

ポスターの部

優秀賞 宮原核子(伊集院小4年)

申木野日置地区納税貯蓄組合連合会長賞

作文の部 久保智樹(伊集院中3年)

小学校 陸上記録会

跳んで走って No.1

10月に各地域ごとに行われた日置市小学校陸上記録会の結果から、未来のトップアスリートたちの記録を紹介します。(敬称略)

種目別の日置市トップ3

種目	種目	1位	2位	3位
100m走	5年男子	小正 貴大(伊集院) 14"8	松浦 友磨(美山) 14"9	国生 誠(妙円寺) 15"0
	5年女子	上蘭 璃子(伊集院) 15"0	渡邊 莉帆(伊集院) 15"1	中間 千波(伊作田) 15"4
	6年男子	野間口和輝(鶴丸) 13"9	時任 洋輝(妙円寺) 14"3	川崎 直人(伊作) 14"4
	6年女子	横田 真子(湯田) 13"8	松尾 佳奈(伊集院) 15"0	迫間 美帆(妙円寺) 15"2
60mハードル走	6年男子	小段 康平(妙円寺) 10"2	中野 雅也(伊集院北) 10"3	地頭所真人(伊作) 10"4
	6年女子	迫間 美帆(妙円寺) 10"5	山元 育美(伊集院) 10"8	比良 梓(湯田) 11"2
800m走	5年女子	登山 綾(妙円寺) 2'51"02	山口理紗子(伊集院) 2'53"80	成田 恭子(妙円寺) 2'56"79
	6年女子	山下 真歩(伊集院) 2'47"67	山下 真世(伊集院) 2'48"97	川路彩弥加(伊集院北) 2'52"88
1000m走	5年男子	松元 光平(伊集院北) 3'20"95	甲斐 康裕(妙円寺) 3'32"06	瀬野 竜矢(妙円寺) 3'36"01
	6年男子	徳留 将也(伊集院) 3'10"18	大迫 寛和(伊集院北) 3'12"80	石神 裕野(伊集院北) 3'24"55
走り幅跳び	5年男子	小正 貴大(伊集院) 3m99	松元 光平(伊集院北) 3m82	大津 峻仁(妙円寺) 3m81
	5年女子	宮之前未来(鶴丸) 3m42		東條あかね(伊集院) 3m38
		岩元かなみ(鶴丸) 3m42		永山亜沙美(日新) 3m38
	6年男子	折田 喜久(伊作) 4m42	田中 直也(伊作) 4m20	横山 大樹(永吉) 4m09
走り高跳び	6年女子	徳重由梨佳(湯田) 3m49	増永 冨紋(伊作) 3m43	平峯 まい(伊集院) 3m40
	5年男子	山崎 理史(妙円寺) 1m32	原田 崇志(伊作) 1m18	国生 誠(妙円寺) 1m15
	5年女子	野久尾美菜(吉利) 1m22	上蘭 璃子(伊集院) 1m15	久恒 聖生(伊集院北) 1m10
	6年男子	山神 昇太(伊集院) 1m31	馬場 亮典(飯牟礼) 1m28	山口 省吾(花田) 1m26
400mリレー	6年女子	横田 真子(湯田) 1m25	前之園真美(妙円寺) 1m15	
			國生小夜歌(湯田) 1m15	
	5年男子	妙円寺小A 1'00"0	伊集院小A 1'02"1	伊集院北小 1'03"0
	5年女子	伊集院小A 1'02"1	湯田小 1'03"7	鶴丸小 1'04"5
	6年男子	伊作小 57"2	妙円寺小A 58"1	伊集院小A 58"2
	6年女子	伊集院小A 1'00"2	湯田小 1'00"6	妙円寺小A 1'00"7

種目別の各地域1位記録(は新)

種目	種目	東市来	伊集院	日吉	吹上
100m走	5年男子	松浦 友磨(美) 14"9	小正 貴大(伊) 14"8	東昌 徹(日) 15"7	原田 崇志(伊) 15"4
	5年女子	中間 千波(伊) 15"4	上蘭 璃子(伊) 15"0	野久尾美菜(吉) 15"5	地頭所晶代(伊) 16"3
	6年男子	野間口和輝(鶴) 13"9	時任 洋輝(妙) 14"3	下松 史明(日) 16"3	川崎 直人(伊) 14"4
	6年女子	横田 真子(湯) 13"8	松尾 佳奈(伊) 15"0	牧内 紗希(住) 16"2	樽野 莉奈(伊) 15"3
60mハードル走	6年男子	恒吉 佑哉(上) 10"6	小段 康平(妙) 10"2	正留 良哉(日) 11"8	地頭所真人(伊) 10"4
	6年女子	比良 梓(湯) 11"2	迫間 美帆(妙) 10"5	西野麻里愛(日) 13"0	山之内裕美(永) 11"4
800m走	5年女子	競技なし	登山 綾(妙) 2'51"02	永山亜沙美(日) 3'00"	東 絵理香(永) 3'22"62
	6年女子	競技なし	山下 真歩(伊) 2'47"67	山口 蓮未(吉) 3'07"	樽野 莉奈(伊) 3'01"34
1000m走	5年男子	競技なし	松元 光平(北) 3'20"95	上原 圭太(吉) 3'53"	山崎 和斗(伊) 3'49"9
	6年男子	競技なし	徳留 将也(伊) 3'10"18	松元 竜樹(吉) 3'37"	田中 直也(伊) 3'31"2
走り幅跳び	5年男子	西蘭隼太郎(湯) 3m32	小正 貴大(伊) 3m99	有留 駿輔(日) 3m49	野田 津(永) 3m46
	5年女子	宮之前未来(鶴) 3m42	岩元かなみ(鶴) 3m42	東條あかね(伊) 3m38	永山亜沙美(日) 3m38
	6年男子	野間口和輝(鶴) 3m89	岩重 雅浩(北) 3m95	二石 裕介(吉) 3m60	折田 喜久(伊) 4m42
	6年女子	徳重由梨佳(湯) 3m49	平峯 まい(伊) 3m40	今村 唯(日) 3m38	増永 冨紋(伊) 3m43
走り高跳び	5年男子	中間 真吾(伊) 1m10	山崎 理史(妙)◎1m32	西野 龍星(吉) 1m10	原田 崇志(伊) 1m18
				勝田 侑弥(日) 1m10	
	5年女子	永山 稚弥(伊) 1m05		野久尾美菜(吉)◎1m22	大迫 佳奈(花) 1m00
		西田 奈央(湯) 1m05	上蘭 璃子(伊) 1m15		地頭所晶代(伊) 1m00
		西村 理那(湯) 1m05			
	6年男子	鍛冶屋智之(皆) 1m20	山神 昇太(伊) 1m31	下松史明(日) 1m25	山口 省吾(花) 1m26
400mリレー	6年女子	横田 真子(湯) 1m25	前之園真美(妙) 1m15	櫛山優香(日) 1m05	中野 花菜(伊) 1m15
	5年男子	湯田小 1'04"0	妙円寺A 1'00"0	日置小 1'06"4	永吉小 1'08"3
	5年女子	湯田小 ◎1'03"7	伊集院A 1'02"1	日置小 1'10"5	伊作小 1'08"4
	6年男子	鶴丸小 59"3	妙円寺A 58"1	日置小 1'04"8	伊作小 57"2
	6年女子	湯田小 ◎1'00"6	伊集院A 1'00"2	日置小 1'06"9	伊作小 1'03"1

学校略称 東市来 上=上市来 鶴=鶴丸 湯=湯田 皆=皆田 伊=伊作田 美=美山
 伊集院 伊=伊集院 飯=飯牟礼 土=土橋 北=伊集院北 妙=妙円寺
 日吉 日=日置 住=住吉 日=日新 吉=吉利 扇=扇尾
 吹上 永=永吉 伊=伊作 花=花田 和=和田



美山 窯元祭り

20年目を迎え 薩摩焼の里に10万5千人

▲ 第1回で国王賞が当たった美山小チーム

▼ 大勢の人でにぎわう第1回

十一月三日から六日まで、東市来美山で美山窯元祭りが行われました。薩摩焼の地としての歴史や文化、陶芸の技や美を広くPRし、地域づくりに生かそうと始まったのが昭和六十一年、今年で二十回目の節目を迎えました。

あいにくの雨模様のスタートとなりましたが、期間中は薩摩焼を安く買えることもあり、お目当ての陶器を求めて窯元をめぐる陶芸ファンやイベントを楽しむ家族連れなど大勢の人でにぎわいました。

ろくろや手ひねり、絵付けなどが体験できるコーナーは連日、親子や友人同士などが作陶を楽しみ、初日にイベント広場で行われた韓国南原市立国楽団による韓国伝統芸能公演も、人気を博しました。

地域の熱意とボランティアに支えられ、成人を迎えた美山窯元祭りは鹿兒島の秋の風物詩としてすっかり定着し、さらに成長していきます。



拾ったゴミが入場券

杉山清貴さんの歌声 江口浜に響く

海岸をボランティアで清掃し、拾い集めたゴミが入場券となるユニークなコンサートが10月29日、江口浜海浜公園でありました。

「はだしのコンサート」と名付けられたこのコンサートは、美しい江口浜をいつまでも守っていきたいとの思いでNPO法人・江口浜ビーチクリーンサービス（代表西村浩二さん）が主催し、昨年に続き2回目。

時折雨が降り、強風が吹くあいにくの天候でしたが、関心を持って集まった約300人が汗を流し、歌手の杉山清貴さんらのステージを楽しみました。



▲ フラダンス（レイモミ東市来の皆さん）



第一回東市来地域文化祭

文化活動の新拠点で

芸術の秋を満喫

第一回東市来地域文化祭が十一月三日から六日までの四日間、東市来文化交流センターでありました。これまでは会場が分散するなかでの開催でしたが、東市来地域の市民にとって長年、待ちこがれた文化の拠点での開催とあって、期間中、大勢の市民が会場に足を運びました。

会場内には書道や絵画、生け花・水墨画といった素晴らしい作品が展示され、訪れる人の目を引き付けにし、三日にあつた芸能発表では、日本舞踊や詩吟、コーラス、和太鼓など多彩なプログラムで、それぞれ活動の成果を発表し、六百人の観客を魅了しました。



東市来文化交流センター開館記念公演 韓国伝統文化に酔う

韓国南原市立国楽団

十一月三日、東市来文化交流センターで、韓国全羅北道南原市立国楽団による公演がありました。同楽団は、平成十年に開催された「薩摩焼四百年祭」をきっかけに、東市来との交流が続いており、今回は文化交流センターの開館記念としての公演が実現しました。

華麗で軽快なリズムで有名な韓国扇子の舞や、韓国伝統音楽の再創造物として多くの人から愛されている曲や歌の熱演に市内外から集まった約八百人が酔いしれました。特にテレビで放映中の「チャングムの誓い」の主題歌が演奏されると、館内は大きな拍手と歓声に包まれました。



地方教育行政表彰

前東市来教育長の石神さんに 文部科学大臣表彰

地方教育行政功労者表彰式が、十月二十日に東京都の日比谷公会堂であり、前東市来町教育長の石神正明さんが、文部科学大臣表彰を受けました。

石神さんは東出水小学校を皮切りに、鹿児島大学付属小学校教諭などを経て、牧園町教育長を一期四年、肝属教育事務所長および大島教育事務所など教育行政の要職を歴任され退職。平成八年十月からは、東市来町教育長に就任され、日置市誕生まで八年以上にわたり教育環境の整備や学校・家庭・地域が一体となった教育の推進などに尽力されました。

今回の表彰はこれまでの地方教育行政振興に対する功績が特に顕著であると認められたものです。





第一回伊集院地域駅伝競走大会が十一月十三日、伊集院総合運動公園で行われ、地域内十地区から十一チーム百二十一人が参加し、健脚を競いました。去年までは町内を一周するコースで行われていましたが、近年の交通事情や一般道での交通安全を考慮して、今年から伊集院総合運動公園での周回コース（11区間26km）に変更になりました。レースは前半、妙円寺東A、郡A、朝日ヶ丘の三チームがトップグループで抜け出し、中盤の六区で、これまで五連覇中の妙円寺東Aを抜きトップに立った郡Aがそ



のままゴール。妙円寺東Aの六年連続優勝を阻止し、総合優勝を果たしました。上位四チーム以外は混戦状態で、順位が目まぐるしく入れ代わる展開。最後まで目が離せないレースに、詰め掛けた大勢の観客は盛り上がりました。昨年と比べ今大会では、参加チームが九チーム減少。どの地区でも選手の選考や育成に苦勞するなか、優勝した郡地区は今大会に二チームを編成。地域が一体となって取り組んだ成果が優勝につながりました。



クラス別優勝
Aクラス 郡A
Bクラス 郡B
Cクラス 野田・桑畑
特別賞受賞者（敬称略）
三十回出場者
西薫（野田・桑畑）
二十回出場者
鳥帽子泰久（朝日ヶ丘）、寺迫賢（妙円寺東）
十回出場者
稲田博（上・下方限）、福留丈夫（郡A）、今村佳幸（郡A）、原之園寛（郡A）、重留正弥（野田・桑畑）、田之頭和則（朝日ヶ丘）
女子五回出場者
丸山希美（大田・寺脇）

伊集院地域駅伝競走大会 郡Aが総合優勝 郡BもBクラスを制す

第1回 伊集院地域駅伝競走大会記録

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区	順位	地区名	所要時間
	3000m	2550m	1650m	900m	2550m	2550m	2550m	2550m	2550m	2550m	2600m			
妙円寺東A	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1	郡A	1:27:41
朝日ヶ丘	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	2	妙円寺東A	1:28:58
郡A	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	3	朝日ヶ丘	1:33:48
上・下方限	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	4	妙円寺西	1:36:21
野田・桑畑	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	5	郡B	1:42:10
町中央	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	6	徳重東西A	1:44:09
徳重東西A	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	7	上・下方限	1:44:35
妙円寺西	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8	中川	1:46:05
大田・寺脇	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	野田・桑畑	1:47:17
郡B	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10	町中央	1:47:39
中川	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11	大田・寺脇	1:52:17
区間賞	宇都邦和 (妙円寺東A)	今村佳幸 (郡A)	今村佑美 (郡A)	川畑優次 (徳重東西A)	有村優樹 (郡A)	東洋平 (朝日ヶ丘)	三谷忠 (郡A)	本村大地 (郡A)	牧瀬哲郎 (郡A)	平地慎次 (郡A) 船倉大輔 (妙円寺西)	松下静雄 (妙円寺東A)			
	8'46	7'54	5'36	2'49	8'13	8'08	8'41	8'57	9'00	8'34	8'51			



伊集院地域総合芸術祭が伊集院文化会館で開催されました。十一月三日の芸術祭では舞踊をはじめ、さまざまなステージで観客を魅了し、同時開催された中央公民館前広場での「かしこい消費者大会」では青空市や食事コーナーなど大勢の人でにぎわいました。十一月五日には「音楽祭」があり、伊集院地域内の学校やサークルなど十団体が演奏やコーラスを披露。文化の秋、芸術の秋を十分楽しみました。

文化の秋 芸術の秋を堪能 伊集院総合芸術祭



十一月十九日、中央公民館で、言葉による表現力を学ぶ体験事業がありました。これは文化庁が実施する「言葉」について考える体験事業の一つで、演出家や俳優として活躍する伊藤えん魔さんを講師に迎え、小学生二十九人が、怖い話をより怖く感じさせる言葉の表現力を学びました。照明を生かした怪しい雰囲気の中、登場した伊藤さんに引き込まれた参加者は、写真を使った話術に早くも恐怖の世界へ。グループごとに怖い話の朗読指導を受け早速、実演発表へ。短時間の練習でしたが、照明や効果音を使った発表はどのグループも表現力豊か。伊集院小五年の田麦貴志君は「ゆっくり読むことを心がけた。今度、友達に怖い話をして驚かせたい」と話していました。

怖い話をより怖く、言葉のフシギ体験 言葉について考える体験事業

地域の文化振興を願い 31回の幕を閉じる



日置地区 広域文化祭

十一月十三日、伊集院文化会館で日置地区広域文化祭がありました。これは各市町の特徴を生かした文化活動の成果を一堂に会して発表し、地域全体の文化振興を図ろうと、これまで日置地区一市八町で会場を持ち回りで開催してきたものです。町村合併に伴う構成市町の移り変わりで、今年は日置市四地域、いちき串木野市二地域、南さつま市金峰地域からの参加で、三十一回を数える今回が最後の開催となりました。

作品展示には書道や絵画、手芸、貝細工などの作品が並び、舞台では音楽、郷土芸能、舞踊といった幅広い分野から発表がありました。各地域を代表する作品、芸能とあって、洗練された内容に参加者から感嘆の声があがっていました。特に芸能発表は、各地域の特色を生かした力強い発表が続き、終始、惜しめない拍手に包まれ、それぞれの地域でのさらなる文化活動の発展を願い、閉幕しました。





文化祭&産業祭

10月29日から30日にかけて日吉地域文化祭が老人福祉センターで、10月30日には産業祭がふれあいセンターでありました。

文化祭では保育園・幼稚園児や小中学生および公民館講座生の作品展と合奏や劇などの発表があり、産業祭では「日吉農業きばろ会」による野菜品評会や即売会などが行われ、大勢の市民が参加、秋の一日を楽しみました。



みなとゆめ市場

11月12日から13日にかけて鹿児島市の旧中央市場跡であった第1回みなとゆめ市場に、日吉町商工会の呼びかけで、日吉特産品協会加盟の各団体も参加。野菜や花、加工品、緑竹、焼酎など、地元の新鮮食材や特産品を販売しました。

鹿児島市を中心とする消費者らに地元産品を売り込もうと、客との会話も弾み、楽しくPRできました。



深固院祭り

しんこだんご発祥の地 団子目当てに長い列

十一月二十日、扇尾地区の深固院ふれあい広場で深固院祭りがありました。この祭りは歴史のないわれのあるしんこだんごを生かして村おこしをしようとする地域が一体となって始まり、今年が十三回目。今では地区最大のイベントとなり、各地から大勢の人が訪れます。

人気は何といつても元祖しんこだんご、団子だけを目当てに訪れる人もおり、次々と焼かれる昔ながらの手づくり団子の前には長い列ができました。

特設ステージでは地元の郷土芸能無僧踊りや扇尾保育園の子ども太鼓などが披露されたほか、農産物の即売などもあり、会場は終日、にぎわいました。

第37回日吉地域一周駅伝競走大会



▲優勝した住吉Aチーム



▲余裕でゴールイン

▲伊地知さん親子のたすきリレー

住吉Aが優勝 日新の4連覇ならず

第37回を数える駅伝大会が11月27日にありました。朝から強風が吹き、時折雨やあられが降る天候でしたが、オープン参加を含む10チームが15区間26.7kmで健脚を競いました。ゴールのテープを切ったのは6区間で区間賞をとった住吉Aチーム。日新の4連覇を阻止しました。

【総合成績】

順位	チーム	記録
1	住吉A	1時間38分21秒
2	吉利A	1時間38分56秒
3	日新A	1時間40分53秒
4	川西A	1時間42分07秒
5	吉利B	1時間45分55秒
6	川東	1時間48分18秒
7	扇尾	1時間52分35秒
8	日新B	1時間56分40秒
オープン	川西B	1時間48分29秒
オープン	住吉B	1時間53分29秒

【区間賞】赤字は新記録

区間	選手名	チーム	記録
1	深川 雄太	住吉A	5'23"
2	松元 竜樹	吉利A	2'44"
3	鶴狩 大地	川西A	7'53"
4	上口 卓	住吉A	9'03"
5	永山亜沙美	日新A	2'50"
6	今中 芳美	吉利A	3'49"
7	榎元 雄司	住吉A	9'23"
8	林 繁範	住吉A	10'04"
9	河野隆太郎	川西A	11'29"
10	山路 幸貴	日新A	8'29"
11	川畑 美紀	扇尾	2'51"
	冨ヶ原真紀	吉利A	
12	山内 広則	日新A	5'56"
13	牧内 彩香	住吉A	4'55"
14	鍋谷 有作	吉利B	5'52"
15	宮脇 誠	住吉A	3'42"

かごしまクリーンアップキャンペーン

10月19日、天神ヶ尾海岸でクリーンアップかごしま事務局(鹿児島大学水産学部)が中心となり、海岸清掃が行われました。これは国際的な活動「国際クリーンアップキャンペーン」にあわせて毎年、行われているもので、単なる清掃活動に終わらず、ゴミを分析し、発生原因を突き止め、発生を防ごうというものです。

これまでの調査の結果、ほとんどが一般生活ゴミであることが分かりました。美しい海を残すために市民の協力が欠かせません。



ブライアンの樹

吉利小にそびえる「ブライアンの樹」として親しまれているクスの木の植樹100周年記念学習発表会が11月16日、吉利小でありました。木にまつわる郷土出身の山下弥七郎とアメリカの政治家ブライアンとの交流を題材にした児童による劇と、元南日本新聞社社長の大園純也さんの講演により、1905(明治38)年にアメリカ副大統領ブライアンが、この地に来て植樹した歴史を地域の人もよく理解できました。



11/17 葉たばこ販売 鑑定に一喜一憂

地域内11戸の農家が生産した葉たばこの価格が決まる「葉たばこ販売」。鑑定士の「いたばこでしたよ」に1年の苦労が報われます。

10/29 市消防団吹上方面団結団式 決意新たに

市長から受け取った団旗に「新たな気持ちで『きばっど』と気が引き締まった」と西園団長があいさつ。100余年の伝統ある消防魂の継承を誓いました。



▲左からニザムさん、ザイナーンさん、ハフィズさん

マレーシア青年研修生が十一月八日、来日しました。これは、吹上町マレーシア交流実行委員会が主体となつて取り組んでいるもので、今回で第五期生となります。研修生はニザムさん、ザイナーンさん、ハフィズさんの三人。同月十四日には、永吉地区公民館で歓迎交流会が開かれ、彼らが一年間お世話になる事業所や永吉地区などから七十人が集まりました。「フキアゲノミナサン、ドゾ、ヨロシクオネガイシマス」。覚えてたの日本語で自己紹介する三人を温かい拍手が迎えていました。ハフィズさんはマイカーポデー有村、ニザムさん、ザイナーンさんは鹿児島ケースでその技術を学びます。

第五期マレーシア青年研修生が来市

一年間、よろしくお願ひします



むつまじく相携えた50年

第28回吹上地域合同金婚式

合同金婚式が十一月十六日、吹上砂丘荘で行われ、昭和三十一年に婚姻した四十二組のうち三十二組が出席し、参列者の祝福を受けました。式では市長夫妻を媒酌人に、宮野久雄さん、幸子さん(今田)夫妻が金婚の儀式に臨み、長生きの盃を受けたあと、一組ずつに祝詞と金盃が手渡されました。金婚者を代表して福添喜信さん(西本町)が「地域のおかげで今日まで暮らしてこれた。この感激を支えに微力ながら貢献したい」と感慨深げに謝辞を述べました。今年の金婚者は、吹上町が誕生して間もなく結婚。そして、日置市誕生という節目に五十年を迎えています。



▲生き生きとした表情でフラダンス(吹上地域文化祭11/6)



花田地区では午前中、小学校の学習発表があり、上級生が「日新公いろは歌」と薩摩の人々」を好演(11/20)

各地で文化祭

十一月五・六日の第三十回吹上地域文化祭を皮切りに、地域内各地区で文化祭が開かれました。会場には手編みや絵画、菊花やショウワガまで、生涯学習の成果が展示され、舞台では日ごろ培ったさまざまな文化や芸術が披露されました。



人馬一体、矢を放つ

伊作流流鏑馬奉納

一五三八年、島津忠良公の加世田城攻めの戦勝祈願に由来する伊作流鏑馬(県無形文化財)が十一月二十三日、吹上町中原の大汝(おほむね)神社で奉納されました。

射手は高田利文さん(小野)と益満太さん(浜田中)。浜砂で邪気を払った馬場を、ひづめの音とともに人馬一体で三回ずつ疾走、矢を放つたびに歓声が沸きました。昨年、公募で名付けられた「流星」も、初々しい姿を披露しました。

また、魔除けになるといわれる的を流鏑馬保存会員がまくたびに、観客がわれ先にと拾っていました。同日開催された流鏑馬行事体育大会の結果は次のとおり。

大会結果

(吹上地域関係分、敬称略) 剣道(団体)◇四年以下：準優勝：吹上剣道◇五、六年三位：和田 剣道◇中学生：三位：吹上中A、B 【個人】◇三年以下：優勝：尾脇昌伍、準優勝：東智輝、三位：今村祐貴、熊野央◇四年：優勝：久保園叶夢、準優勝：田口修瑛◇五年：準優勝：坂口秋恵、三位：東恵理香◇六年：三位：尾脇徳馬 柔道(団体)◇スポ少A：準優勝：吹上柔道A◇スポ少B：準優勝：吹上柔道B、三位：吹上柔道C◇中学生女子：準優勝：吹上中 【個人】◇六年：三位：畠中真幸◇中学一年：準優勝：有田徹也 銃剣道(団体)優勝：吹上町 【個人】◇39歳以下：優勝：久保園 浩幸、三位：草木迫浩大、鍛冶屋輝 久◇40歳以上：準優勝：下園和己

熱走 花田Aが連覇

第43回 吹上地域 市民駅伝競走大会(11/13 北回りコース)



	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区	順位	地区名	所要時間
	1300m	1900m	1500m	2100m	1100m	1000m	1300m	1500m	1500m	1000m	3200m			
吹上A	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1	花田A	0:57:20
伊作南	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	2	和田A	0:59:09
花田A	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	3	吹上A	0:59:29
伊作北	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	4	永吉A	0:59:32
和田A	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	5	伊作南	1:01:10
和田B	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	6	伊作北	1:04:54
伊作B	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	7	藤元	1:05:35
永吉A	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8	永吉B	1:05:54
吹上B	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	花田B	1:06:02
藤元	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10	伊作B	1:07:24
花田B	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11	和田B	1:08:29
永吉B	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12	吹上B	1:08:41
花田C	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13	花田C	1:09:24
区間賞	田中直也(吹上A)	下野青海(和田A)	園中秋葉(花田A)	右田哲也(花田A)	松澤なつみ(花田A)	樽野莉奈(伊作南)	有馬久光(花田A)	窪浩一(花田A)	鍛冶屋光俊(吹上A)	木場慎二(吹上A)	能勢勇作(花田A)	※太字は区間新記録		
	4'32	5'58	4'57	5'57	3'42	3'34	4'13	4'38	4'59	3'23	9'09			

ストレスと上手に向き合い

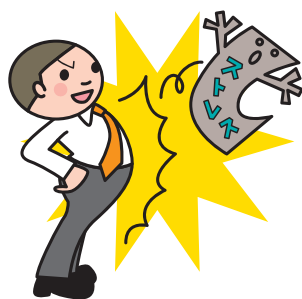
気分転換を

最近「気分が落ち込んで憂うつだ」「夜よく眠れない」「なんとなく疲れやすい」…など、感じていませんか？

経済不況や社会構造の複雑化など様々なストレスを抱える現代では、こころが疲れている人が多い傾向にあります。こころが疲れていると身体にも影響し、免疫の働きが弱くなることで、様々な病気を発病することがあります。しかし、生きている以上、ストレスを避けることはできません。また適度なストレスは自分を高めることにつながります。

ストレスを過度にためないためには、こまめに気分転換をすることが大切です。気分転換の仕方は人それぞれですが、一般的には、

- 体を動かし気持ちいい汗をかく
- 五感を働かせる（音楽を聴く、おいをかぐ、おいしいものを食べるなど）
- ふれあう（自然、人）



休息をとる、睡眠を十分とる、生活の中でちよっと力を抜くなどがあります。自分に合った方法を選んで上手に気分転換しましょう。

また、日置市ではこころの健康を維持増進するため、癒しを中心としたリラククス教室や悩み相談窓口などがあります。リラククス教室は、気分転換の方法を学び、実際に体験する教室です。また相談は気持ち話を話し、今後の方向性を一緒に考えていくものです。守秘を徹底していますので、お気軽に各支所保健師へご相談ください。豊かな人生を過ごしていくため、毎日の生活の中に自分に合ったストレスの解消法をみつけていきましょう。

心もからだも健康になればみんな幸せ

健康情報 ひおき シリーズ(4)



幸せを共感できる

健やかで豊かな福祉社会

第一回市社会福祉大会を開催

十一月二十五日、日吉老人福祉センターで第一回日置市社会福祉大会がありました。これまで鹿児島郡と日置郡の自治体で開催されてきた鹿児島・日置地区社会福祉大会を、市と市社会福祉協議会の共催で開催するようになったもの

で、社会福祉に対する理解とを深め、住民参加を促進しようと市民約三百人が参加。大会は扇尾保育園の太鼓に合わせた大人顔負けの歌と踊りで開幕。長年にわたり、社会福祉の向上やボランティア活動などに功績のあつた個人の表彰が行われたあと、県社会福祉協議会地域福祉部副部長の福田正道さんが「支えあう地域社会づくり」と題して記念講演。地域福祉を推進していくには、地域で何が求められているか、そこに住む人が課題を意識しながら自分たちのできる活動、態勢を築いていくことが大切と訴えました。表彰者は次のとおり（敬称略）
ホームヘルパー 池崎千代子（吹上）、小川路都貴子（吹上） **社会福祉事業施設** 大久保千代子（伊集院）、桑水流久子（伊集院）、原田誠（伊集院）、上福元由喜子（日吉） **社会福祉事業関係団体** 濱田代津子（伊集院）、中原絹江（日吉）、永野典（吹上）、前田忠（吹上）、米倉ヨシ子（吹上） **ボランティア活動** 樋口千エ（東市来）、上妻勲（伊集院）、中玉利隆義（伊集院） **選考委員会特認** 黒木躬義（日吉）



おめでとう

このコーナーに掲載を希望されない方は、お申し出ください。

本庁 11月受付分(敬称略)

滝山 撞気	栢内 那月	加行 環	重吉 貴斗	永吉 陽翔	木屋尾和住	栗田俊輔	鍋倉龍之介	鈴木煌琉	野口美玲	窪田聖士	(出生児)	繁之	洋祐	義文	利郎	大輔	義広	浩二	正人	章彦	敏信	健二	
妙門寺5区	妙門寺5区	妙門寺5区	妙門寺6区	妙門寺6区	妙門寺6区	妙門寺9区	妙門寺6区	向江町	向江町	向江町	向江町	向江町	向江町	向江町	向江町	向江町	向江町	向江町	向江町	向江町	向江町	向江町	向江町

東市来支所 (出生児) (保護者) (自治会)

小原かのん	比良 咲斗	盛満 愛花	池上 凛海	池上 凜夢	門松 輝	純平
妙門寺3区	妙門寺3区	麦生田下	荒瀬 剛治	荒瀬 剛治	向江町	向江町

本庁 11月受付分(敬称略) (享年) (自治会)

久富木原静枝	木下 國治	久保 エミ	上園ヨシエ	瀬戸口ミカ	橋口 兼雄	西村 卓三	前田 秋己	東峯 治義	留奥 ユキ	大庭 テル	堀之内 義弘	田中 末吉	古市	南神之川	秋光園	下養母上	川北	堀内	美山下北	田代東	田中 義則	脇田 孝心	上口 ユミ	久山 ユミ	兼行 保	前岡 シツ	
郡下	日吉町青松園	野田2区	南神之川	田代東	美山下北	堀内	堀内	川北	下養母上	秋光園	南神之川	和田 義則	脇田 孝心	上口 ユミ	久山 ユミ	兼行 保	前岡 シツ	前岡 シツ	兼行 保	日置 麓	青松園	草原西	中原	草原西	青松園	日置 麓	住吉

おひやみ

東市来支所 (出生児) (享年) (自治会)

久富木原静枝	木下 國治	久保 エミ	上園ヨシエ	瀬戸口ミカ	橋口 兼雄	西村 卓三	前田 秋己	東峯 治義	留奥 ユキ	大庭 テル	堀之内 義弘	田中 末吉	古市	南神之川	秋光園	下養母上	川北	堀内	美山下北	田代東	田中 義則	脇田 孝心	上口 ユミ	久山 ユミ	兼行 保	前岡 シツ	
郡下	日吉町青松園	野田2区	南神之川	田代東	美山下北	堀内	堀内	川北	下養母上	秋光園	南神之川	和田 義則	脇田 孝心	上口 ユミ	久山 ユミ	兼行 保	前岡 シツ	前岡 シツ	兼行 保	日置 麓	青松園	草原西	中原	草原西	青松園	日置 麓	住吉

日吉支所 (出生児) (享年) (自治会)

久富木原静枝	木下 國治	久保 エミ	上園ヨシエ	瀬戸口ミカ	橋口 兼雄	西村 卓三	前田 秋己	東峯 治義	留奥 ユキ	大庭 テル	堀之内 義弘	田中 末吉	古市	南神之川	秋光園	下養母上	川北	堀内	美山下北	田代東	田中 義則	脇田 孝心	上口 ユミ	久山 ユミ	兼行 保	前岡 シツ	
郡下	日吉町青松園	野田2区	南神之川	田代東	美山下北	堀内	堀内	川北	下養母上	秋光園	南神之川	和田 義則	脇田 孝心	上口 ユミ	久山 ユミ	兼行 保	前岡 シツ	前岡 シツ	兼行 保	日置 麓	青松園	草原西	中原	草原西	青松園	日置 麓	住吉

食改さんの健康メニュー

ちぎり梅干しとちりめんざこの混ぜご飯

【材 料(4人分)】
 米……………3カップ
 水……………3カップ
 梅干し……………3個
 白ごま……………大さじ4
 チーズ……………40g
 青じそ……………8～10枚
 焼きのり……………2枚
 ちりめんざこ……………大さじ4
 にんじん……………40g
 インゲン豆……………40g

【作り方】
 ① 米を洗い、ざるにあげ水気を切る。分量の水に1時間くらいつけ、普通に炊く。
 ② 梅干しは、種を取って小さくちぎり、白ごまは焦がさないようにゆっくり炒る。
 ③ チーズは、あずき大の角切りにし、青じそは細いせん切り、にんじんは1cm位の薄いせん切りにし、さつとゆがく。いんげん豆はさつと塩ゆでし、にんじんと同じ大きさに切る。
 ④ 焼きのりは小さくちぎる。
 ⑤ ①を7分くらい蒸らしてから、すし桶にうつし、梅干しをさつと混ぜ、残りの材料も混ぜる。器に盛ってから、のりを上にちらす。

第一次総合計画策定に向けて

第一次日置市総合計画策定に向けて、各地で次のとおり第二回地域審議会が開催され、計画案が検討されました。

東市来地域審議会	11/17	19人出席
伊集院地域審議会	11/18	16人出席
日吉地域審議会	11/22	19人出席
吹上地域審議会	11/22	18人出席

それぞれの地域の現状を整理し、課題解決に向けて計画に反映させようと活発な意見が出されました。

また十一月二十四日には東市来文化交流センターで第一回市総合計画審議会を開催しました。今後、一月に市総合計画案の住民説明会を開催し、各審議会、総合計画審議会に最終案を諮問し、三月議会で提案される予定です。

日置市異業種交流懇話会を設立

日置市内で活動する企業同士や行政との交流を進め、情報交換をしながら、それぞれが抱える課題解決や新たな産業・事業の開発、地域の就業機会の促進などを積極的に図り、市全体の発展につなげようと、「日置市異業種交流懇話会」が設立され、十一月二十四日に設立総会が開催されました。

各企業の代表者からは「市内の他の企業と接する機会が関連業者以外ほとんどない。この会には非常に期待している。こういった機会を大事にしていきたい」という声が出されました。今後、定例会のほか研修会などを予定しています。



ギャララー 私の作品展

押し花アート

瀬戸山のり子さん(59歳) 伊集院町郡

文化祭の作品展で押し花の作品を目にして以来、7年前から公民館講座で始めました。もともと花が好きだったことありますが、押し花アートは花だけではなく、苔とか木の皮・根とかシダなども使って、なかなか奥が深いです。木や草花など自然の素材に目がいくようになりました。お互いに花の名前を教えあったり、素材を交換したりと、作品づくりはもちろんですが、話をしながらの交流も楽しみです。何年経っても初心者、毎回、毎回、勉強です。




ワカサギ まちの文化財


蛭子像(えびすぞう・吹上地域)

吹上町の東本町自治会にある蛭子神社は、商業の神様として広く信仰を集めています。ご神体は、500年ほど前の伊作島津氏10代当主忠良(日新公)が、自ら作ったといわれている蛭子像陰陽2体(高さ36cm)と、江戸時代に新しく作られたという2体(高さ48cm)です。忠良作の2体は11月にオープンした「伊作えびす屋」のシンボルマークにもなっています。

2組の蛭子像については、次のような話が伝えられています。文化3(1803)年に、忠良作の2体がなくなったので、忠良を祀った日新寺で占ってもらいました。占いの結果は、「そのうち戻ってくるので、その間は新しい像を作って祀るように」というものでした。お告げに従い、新しい像が作られました。

文化9年11月に伊作(吹上南部)の商人が永吉(吹上北部)で忠良作の像を発見して持ち帰りました。社殿を改築して新旧4対の像を併せて祀るようになると、ますますご利益もあらたかになったと伝えられています。

引用参考文献『吹上町の文化財と神話・伝説』



Access 本庁から車で30分 吹上支所から徒歩10分



「先生がこいつー。」 私が学校の先生になろうと思ったのは、一年生の担任の先生との出会いからなんです。

入学した頃、私はとても泣き虫でした。でも、泣いている時、よく先生は、やさしい言葉を私にかけてくださり、私をすぐに泣きやませてくれました。

また、先生はとてもピアノが上手でした。そして、勉強の教え方がわかりやすく、すぐにいろいろなことを理解できました。

その先生は、赤ちゃんができて本年ほどでお休みになりましたが、わずか半年でも、とても印象深い先生で、尊敬しています。

私も将来、先生になってみんなに楽しく勉強を教えてあげたいです。

夢に向かってレッツ・ゴー。

ゆめ & チャレンジ

先生になりたい

土橋小学校六年 新山 未遊さん

いきいき ひと

シリーズ⑦

水墨画は生涯の仕事 筆を持って死ねたらいい

県内で水墨画の第一人者である芝さんが水墨画を始めたいきっかけは、ふと目にとまったデパートのギャラリーに展示してあった水墨画でした。主婦グループが描いた水墨画に引かれた芝さんは「美大を出たわけでもない主婦が描けるのに、自分には水墨画が描けない」美術教師としてのプロ意識から「負けたくない」と約五年間、先生の所に通い続けました。

「人に教えれば自分も上達する」サークルや学校のクラブ活動で水墨画を教えるようになり、教職を定年後は県内各地の公民館講座などで水墨画の普及に努め、今では筆を持たない日はありません。

「色を使わないで色をみせることが水墨画のおもしろさであり難しさ。見る人が色を想像して、見る人をひきつけていきます。俳句の五七五の世界と同じ。いかに描かないで見せていくか。見る人が想像を膨らませていきます」水墨画の魅力をそう語ります。

南九州水墨画展の審査員も務め、今年で二十回目を迎えた同展のフランス記念展で、九月にはパリ市民の前でも水墨画の制作を披露。

「鹿児島のレベルもだいぶ、上がってきました。中央にもどんどん出ていってほしいです。ただ、県内には指導者が少ない、指導者の育成が急務だと思います」「水墨画にゴールはありません。自分自身の技術をもっと深めながら、本当に描ける人を育てていきたい。筆を持ったまま死ねるような人生を送ってほしいですね」



芝 龍郎さん [66歳]

東市来町湯田 (駅前自治会)

高校卒業後、多摩美術大学で日本画を学ぶ。中学校美術教師を定年後、水墨画の講師として公民館講座等で活躍中。鹿児島墨龍会会長 (社)日本中国水墨交流協会理事 南九州水墨画展審査員



木下 歩くん(1歳10ヶ月)

父 治さん 母 里美さん (伊集院町郡)

■おかあさんから 自然の中ですくすくと大きく育ててね。



脇田 浩奈ちゃん(1歳10ヶ月)

父 浩次さん 母 奈都美さん (伊集院町郡)

■おかあさんから 人に優しい子に育ててね。

元気のあるお子さんの写真を募集しています。

市内に在住の6歳以下のお子さん 氏名 生年月日 保護者氏名 お子さんの近況・お子さんへのコメント 広報への意見 連絡先を添えて、市役所総務企画部企画課 住所は未定までお送りください。